

2013年5月18日(土)

乾徳山(2031m)

レポート by 熊本(熊本)

秩父の名峰「乾徳山」に川島さん、布目さん、小山さん、堀さんと熊本の5名で山頂の一枚岩の岩峰に挑戦した。



高尾発 7:26 の普通電車で塩山に向かう。写真左は、布目さん、小山さんと話すお年寄りは 80 歳でルートは異なるが同じ乾徳山に登るそうで、甲斐大和で下車した。



塩山駅で 9:00 に予約を入れておいたタクシーで大平牧場へ向かう。

昔は徳和からの登山口から登ったが、登り 4 時間近く係り、日帰りでは健脚コースとなるため、今回は大平牧場(標高約 1250m)からのルートとした。このコースでも標高差は山頂まで 800m あり、2 時間 30 分はかかる。



牧場に 9:30 到着(¥5030)。

大平牧場は、現在牧場を廃止しており民宿が一軒あるだけ。

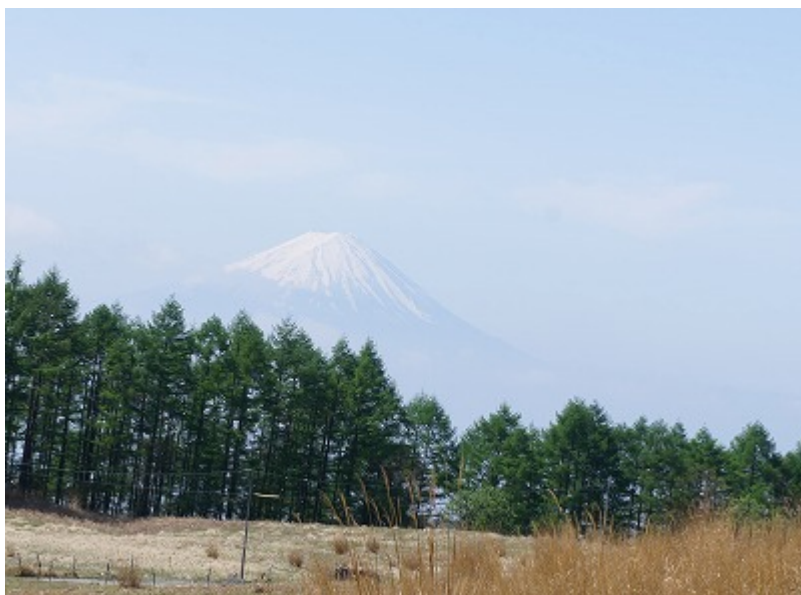
これから登る道満尾根を仰ぐ。

ピークは 1314m の道満山。





牧場を後に、カヤトの登山道を登る



5 分ほど登り、振り返ると富士山がハッキリと青空に浮いていた。  
今日も幸先良いスタートである。



更に 15 分ほどで、乾徳山登山口の大きな標識に到着、ここでスタートの集合写真を撮る。(9:48)





ガレた登山道を淡々と登る。  
暑く T シャツになる。



スタートから 40 分で道満尾根に出る。  
(10:10)



檜にダケカンバの樹林帯が続く。  
川島さん、布目さん、小山さん、堀さん、  
熊本の順で登る。  
川島さんは快調に先頭をキープ。





木の間から富士山が常に見え、励ましてくれる。



スタートして約1時間、大きな岩が現れ始める。



約1時間40分で視界が開けた。扇平だ。前方に南アルプス峰々の連なりが広がる。

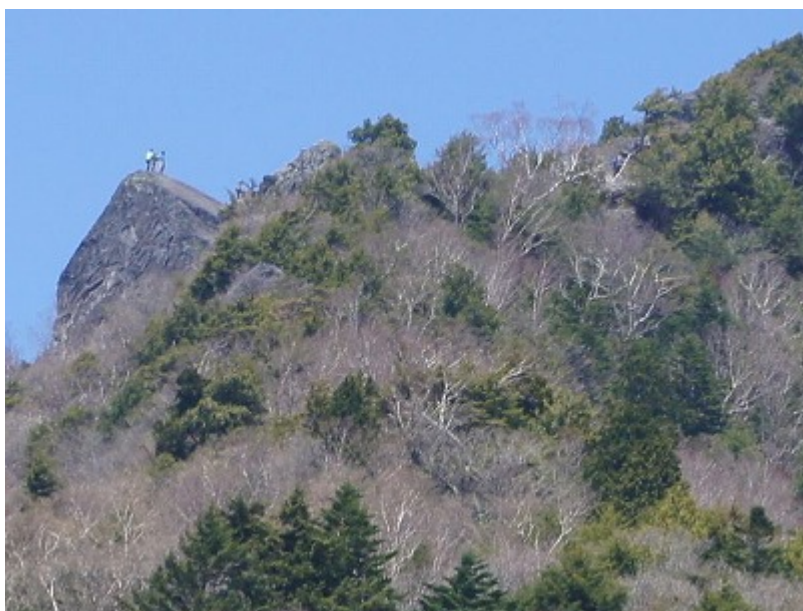




扇平で富士山を背景に写真を撮る。



前方にこれから登る乾徳山の山頂付近が見えてきた。



良く見ると左の一枚岩の岩峰の先端に二人立っているのが見えた。  
が、これは山頂ではなく、山頂は更に奥にある。





これからの急登を前に扇平の上部で  
昼食とする。

(11:20)



昼食後は大きな岩が重なりあった登  
山道の連続となる。

まだこの時点では予定スケジュール  
より 20 分早めに歩けている。

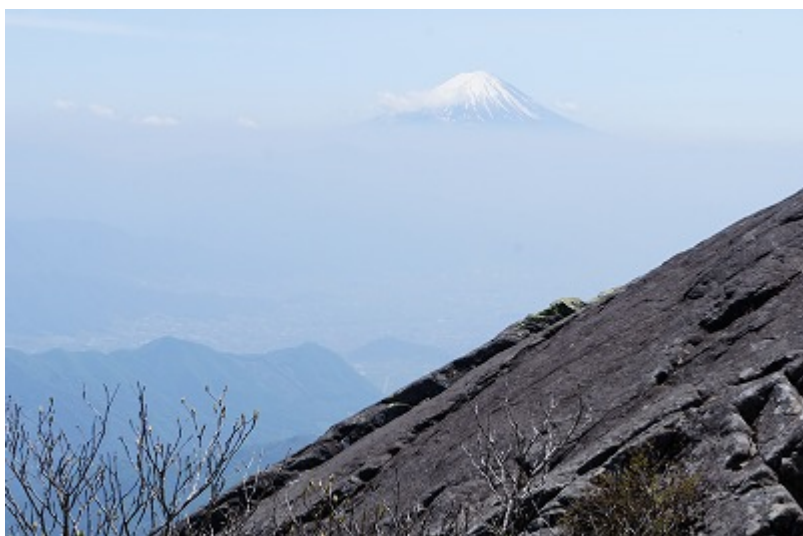


徐々に岩壁の厳しい登りが連続し始  
める。





真二つの真ん中で割れた「髭剃り岩」



一枚岩の向こうには富士山が我々を見守ってくれている。  
頑張って元気をだそう。



更に急峻な岩峰の連続で左側は 100m  
以上の絶壁で自然に岩を持つ手に力  
が入る。





最初の鎖場で足を踏ん張った時に足を吊ってしまい、「ツムラ 69」を飲み少々休息。



更に鎖場を超え、足を底いながら高度を稼ぐ。



最後の山頂岩峰の鎖場が見えてきた。  
〔12:50〕

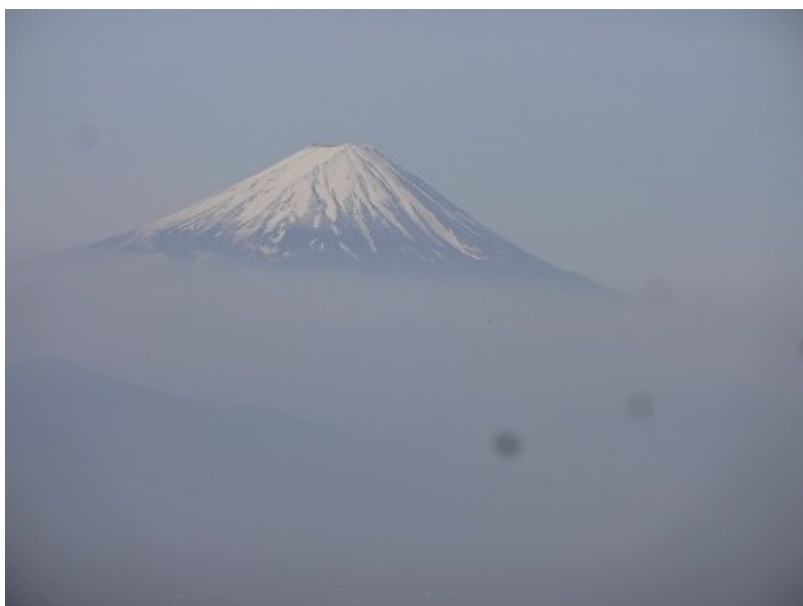




最後の鎖場に取り付く。  
先頭は小山さん、足場を確保しながら  
中間のテラスに着き、次は布目さんが  
スタート、川島さんは足がかりを見な  
がら準備。



最初に小山さんが山頂に立ち、後続を  
待つ。



山頂からは富士山の雄姿を見て疲れ  
が吹っ飛ぶ。





13:10 全員登頂し、富士山を背景に記念写真。

全員「ヤッター！」



乾徳山山頂の標柱を囲んで登頂の記念写真。(13:15)

この時点で、スタートの 30 分のアヘッドを全部食いつぶしたがまだオンタイムだ。

当初の下山は山頂から同じコースを戻る予定であったが、足を吊っている川島さんには鎖場の下山は無理と判断し、30 分以上時間は余計に掛かるが、笠盛山方向の下山ルートを取り、国師ヶ原へ迂回するコースにした。



このコースは長い鎖場はないが、急峻な岩峰の下りであり、垂直の鉄ハシゴを3回ほど降りる。これもリスクがあり、慎重に時間を掛けることになる。





一枚岩の 30 センチほどの登山道で、谷側は深く切れ込んで 100m ほどの絶壁である。

この様な下山を数回繰り返し、足をかばいながら何とかクリアーした。



急峻な岩場を降り切り、樹林帯に入るが、ガレた石の急斜面の下りは足の負担が大きく厳しい。



バイケイソウの群生地が現れた。

(14:30)

標高はまだ約 1750m で、国師が原まではまだ時間がかかりそうだ。

大平牧場に 15:30 で迎えのタクシーを頼んであり、大幅に遅れることは確実となり、連絡を取るために熊本が先行して携帯の繋がる国師ヶ原に急いだ。





国師ヶ原に 15:10 に到着し、何とか携帯で連絡が取れ、予定より 1 時間おそい、16:30 に変更してもらった。  
この付近は野生の鹿が群れをなしてた。



全員が「国師が原」に到着した (15:35)  
ここから、道満尾根に出て大平牧場にする。



道満尾根からは富士山がこの時間まで雲も掛からずについて、終日疲れた体を癒してくれた。  
5 月下旬のこの時期には珍しい。





今回出会った花。左はコイワザクラ、右はフジザクラ



川島さんの足も大分回復し大平牧場に向かう。

約束した 16:30 の 5 分前に大平牧場に無事、到着することが出来た。

7 時間の行程であった。

タクシーで別の温泉「はやぶさ温泉」に向かう。



はやぶさ温泉に 17 時に到着。

18:00 までの一時間、入浴休憩。

源泉掛け流しで、それも露天風呂、内湯とも大量の湯量で浴槽から溢れ、非常に綺麗であった。

無事登頂を祝し生ビールで乾杯し本日の登山を締めくくった。

山頂、直前の急峻な岩壁で足が吊るハプニングはあったが、全員岩峰の山頂〔2031m〕に無事立てたこと、終日、富士山に見守られながらの登山であったことで思い出に残る登山となった。